



# 吐山地域学校規模適正化検討協議会ニュース



## 第4号

平成27年12月

吐山地区委員（地域・PTA・学校関係者）／教育政策課

第4回吐山地域学校規模適正化検討協議会が11月13日(金)に開催されました。

### 会議の概要

前回の協議会以降、都祁統合再編校舎大規模改修事業打合せ会（以下、校舎打合せ会）が2回開催され、今回の協議会では、校舎打合せ会の内容についての報告を受け、質疑・意見が出されました。

また、4地域の保護者の皆さまからの意見や質問への回答について、説明がありました。保護者はこの見解を予め承知されており、改めての論議はされませんでした。

会議では、学校づくりの核心となるビジョンに関する話も行われました。



### 都祁統合再編校舎大規模改修事業打合せ会について

4地域から、地域住民代表・保護者代表・学校関係者代表やその他関係者が集まり、校舎打合せ会を2回（9月8日（火）、10月27日（火））開催されました。

<p>先進地視察 第1回校舎打合せ会 9月8日（火）</p>	<p>◇先進地視察（視察先：相楽東部連合立南山城小学校及び川西町立川西小学校） ・開放的なスペースの活用、木材の活用など、様々な工夫が施されていた。</p> <p>◇第1回校舎打合せ会 ①校舎打合せ会の概要及び今後のスケジュールについての説明 ②都祁小学校の現況等についての説明と校舎見学 ③意見交換会</p>
<p>第2回校舎打合せ会 10月27日（火）</p>	<p>◇参加者からは、バスロータリー整備に関わる用地買収や送迎用の駐車スペースなどについて意見や質問が出された。</p> <p>①第1回校舎打合せ会での課題についての回答 ②第1回校舎打合せ会でいただいたご意見の紹介 ③校舎増築図面（案）の説明 ④改修イメージの紹介 ⑤質疑応答</p>

（吐山地域代表者：中島・的場・神田・奥田・佐々木・井上、草尾の各氏）

### 校舎打ち合わせ会に関する質疑・意見（○:出席者 ⇒:市教委 △:事務局）

- 平成28年度の予算要求の時期だが、平成29年4月から統合校となる場合のスクールバスについて、コミュニティバスを使うのかどうか等を関係課で調整されているのか。また、どのような想定で予算要求しているのか。間に合うように調整しているのか不安を感じる。
- ⇒ スクールバスについては、路線や人数等の調整に時間がかかることは想定している。これまでの経験から、平成29年4月から運行開始する場合には、平成28年度の終わりに予算化することになると思われる。子どもたちの安全をしっかりと確保した上で、スケジュールに合わせて検討を進めていく。
- 4地域の代表が出席している校舎打合せ会では、学校に入るまでのアプローチの話が中心になっており、肝心の校舎については、物理的に人数が増えることにだけ対応した拡張の話しかされていない。
- ⇒ 他の地域でも、そのような意見がある。アプローチの安全確保も課題であるが、校舎本体の検討と並行して進めていく必要がある。今後の校舎打合せ会では、校舎本体の検討が進むよう調整し、この協議会では校舎以外の内容を検討できるよう進めていきたい。
- 打合せ会ニュースのご意見・ご要望にある「オープンスペース・フリースペースを充実させる」、「社会的、歴史的資料展示室の設置」、「全校児童が集まり、地域の人達とコミュニケーションをとることができる部屋がほしい」という項目が、どんな都祁の教育を作っていくのかということに関わる部分である。統合後の地域学習といっても、現在の都祁小学校の校区を中心とした地域の学習になると思う。そうした時に各地域の資料を展示したり、学ぶためのスペースがあったりという常設の地域学習室があったら、地域の人があるところに出向いて地域学習の支援ができるのではないかと。統合後の都祁でどんな教育を大事にしたいかというビジョンがなければ、部屋の数も部屋の形も決まらない。自分たちの地域の子どもたちに、どのような力をつけたいのかというビジョンがあった上で、そのための校舎をどのように作っていくかということについては、校長を中心に4校で集まって討議をし、形にしていく検討の場をこれから設けていただきたい。
- ⇒ 校舎打ち合わせ会とは別に、学校づくりについて話し合う機会を作りたい。

## PTA からのご質問に対する回答について



4 地域の PTA からの統合再編に係る質問や意見をまとめ、3 つのテーマ（「学校生活」、「放課後」、「地域」）に分類し、現段階で作成した担当課からの回答について説明されました。

	項目	回答の概要
学校生活	クラス人数について	国の基準、奈良市の現状説明。
	スクールカウンセラーについて	市内全中学校配置、今後は全小学校に配置予定。
	校則について	統合再編までに関係者で協議。
	スクールバスについて	安全に通学できるよう、運行ルート、乗降場所等を運行開始までに調整。
	同じ集団で新鮮さがなくなる心配について	園・小・中で学び方や学ぶ環境などそれぞれに工夫しており、子供の役割や人との接し方が変化していく。
	小規模校について	多様な仲間の中で切磋琢磨する環境づくりが必要。
	安全管理について	登下校の安全指導や、来校者カードなどの安全管理の工夫が必要。これまでどおり、青パトなどの地域の見守り活動への協力継続。
	P T A について	統合再編までに保護者と協議。
放課後	バンビーホームについて	小学校敷地内で増築予定。全ての子供の放課後の活動の場づくりが課題。
	放課後子供教室について	統合小学校に設置された運営委員会に委託。
地域	跡地活用について	教育委員会だけでなく市全体の問題。市として最善の方策を検討。
	協議会の目的について	活力ある学校づくりに向けて、地域・保護者・学校・市教委で協議。
	規模適正化の目的について	集団の中で切磋琢磨する環境を整えること。よりよい学びの場づくり。
	地域の良さを残すことについて	各地域の伝統や文化を受け継ぐ取組が必要。
	さらなる児童数の減少を待っての統合について	なるべく早く、現在、小学校に通う子供たちの教育環境を変えていく。
	協議会の運営について	議題の整理や、昼間の開催など、工夫が必要。
	地域に支えられる子供たちについて	学校・家庭・地域でつくる教育…「地域の学校から地域が学校」

### 質疑・意見（○:出席者 ⇒:市教委 △:事務局）

- 検討協議会発足の際には、「統合再編に関して、テーブルに乗らないと意見も言えない」ということで協議会を開催されていると思うが、統合再編ありきで検討が進んでいるように思える。
- △ これからの少子化の時代の活力ある学校を子どもたちのための教育について論議していく場であり、賛成・反対を決める場ではないと考えている。様々な意見を出しあい、統合再編を総合的に最終判断するのは奈良市・奈良市教育委員会である。吐山の協議会設置要項では、都祁の他の 3 地域の協議会の設置要項とは違い、これからの学校どうするのかということと、付随して小学校の跡利用についても話し合うことまで盛り込んでいる。
- 地域が子どもを育てているとともに、地域の大人が子どもたちに元気をもらっているということも大事にしたい。バンビーホームを各小学校に残すというのは安全上問題があると説明があったが、公的な安全管理員を配置し、加えて地域の方がボランティアとして参加する人がいる、という体制を地域が作れるか地域が真剣に考えていかないといけない。議論をして、教育委員会とすり合わせをして、市内で展開されている画一的なものではなく、統合後の一緒にする部分と大事にしていく部分を考えていくような協議を進めてほしい。
- ⇒ 文科省でも CS（コミュニティスクール）だけでなく、「地域学校協働本部」というもう少し大きな広がりを見ている。この動きにより、フレキシブルに幅広く学校と地域が絡み合うような組織作りもできていくのではと考えている。こういった動向も示しながら、各地域のよさを最大限に取り入れた統合再編を実現できるようにしていくことが課題である。学校ビジョンについては、都祁ならではの教育、学校をめざしていきたい。地域の関わりが学校のビジョンの大きな核であり、地域の協力も必要不可欠である。したがってビジョンは、色々なご意見をいただきながら作っていくものであり、われわれ教育委員会だけで一方的に作れるものではないと思っている。
- △ 今回の計画の中に、小中一貫教育の推進が入っているが、論議があまりされていない。このことも含め、次からは地域の方が期待されているような具体的な話をしていきたい。

### 今後について

◇ 第 5 回学校規模適正化検討協議会の開催日時、テーマについては、改めて委員の皆さまにお知らせします。

お問い合わせ先：幹事 [中島、保仙] / 奈良市教育委員会事務局教育政策課 (Tel.34 - 5386)

第 5 回は、12 月 16 日（水）19 時～吐山公民館 テーマ「都祁ならではの学校づくり」に決まりました。